

「甲子園キャッチフレーズコンクール」で表彰されました。



©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited

2018 March 12

夏の甲子園・第100回記念大会のキャッチフレーズコンクールにて、最優秀賞であるグランプリに本校文理科2年・屋谷明唯さん(尚学館中学校出身)の「**本気の夏、100回目。**」が選ばれました。

3月9日に朝日新聞社の表彰・取材を受け、10日(土)の新聞に掲載されました。

野球部の今歳屋遼主将(清武中出身)は「宮崎第一高校の生徒のキャッチフレーズが選ばれて素直に嬉しいが先を越されたという気持ちもある。第100回記念大会にキャッチフレーズと一緒に出場したい」とコメント。屋谷さんは「キャッチフレーズと一緒に野球部が甲子園に出場してくれたら本当に嬉しいし、凄いこと。ぜひ実現して欲しい。」と語りました。

【関連記事】※別ウインドウが開きます

グランプリの屋谷さん表彰

甲子園キャッチフレーズコンクール



「本気の夏、100回目。」

今夏の第100回全国高校野球選手権記念大会のキャッチフレーズコンクール(朝日新聞社、朝日放送主催、日本高野連後援)で、宮崎第一高校2年の屋谷明唯さん(17)の「本気の夏、100回目。」がグランプリを獲得し、9日、同校で表彰式が行われた。屋谷さんは賞状や盾、記念品を宮崎太介・朝日新聞宮崎総局長から受け取り、「友達から『受賞の記事などを』見たよ』『おめでとう』と連絡がきて、実感が湧いた。本当にうれしー。インターネットで配信された関連記事のコメント欄に触れ、「『前向きになれた』という書き込みを見つけた。このキャッチフレーズを考えてよかったと思った」と喜びを語った。

作品は、甲子園での自身の体験から考えた。2013年夏の大会当時、宮崎県代表の延岡学園の付属中に在籍し、決勝戦の応援で甲子園に駆けつけた。「最寄り駅から球場に行くまでの間でもものすごい熱気を感じました」。すぐに「本気」という言葉が浮かび、作品ができたという。

同校の池間健治校長は「野球部はまだ甲子園に出場したことが無いので、今夏は屋谷さんとキャッチフレーズとともに夢の舞台に一緒にいければいい」と話した。(松本真弥)

賞状と盾を受け取った宮崎第一高の屋谷明唯さん＝宮崎市郡司分

宮崎第一高 友達が祝福「実感湧いた」





「甲子園キャッチフレーズコンクール」で表彰されました。



©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited



<取材後のコメント>

受賞の連絡を受けた後、たくさんの友達や家族から「すごいね！インターネットにも出るよ！」と言われましたが、なんか恥ずかしくてすぐには見られませんでした。もう大丈夫かなって思い、少し経ってからインターネットを見たのですが…やっぱり恥ずかしかったですね(笑)。今日の取材を受け、改めて『凄いことをしたんだなぁ』と実感しました。

